



2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月14日

上場会社名 株式会社Sun Asterisk 上場取引所 東
 コード番号 4053 URL https://sun-asterisk.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 小林 泰平
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 服部 裕輔 TEL 03(6419)7655
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	2,697	—	548	—	564	—	500	—
2019年12月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）包括利益 2020年12月期第2四半期 482百万円（－％） 2019年12月期第2四半期 ー百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	14.80	—
2019年12月期第2四半期	—	—

- （注）1. 当社は、2019年12月期第2四半期については連結財務諸表を作成していないため、2019年12月期第2四半期の数値及び2020年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。
 2. 当社は、2020年3月31日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しています。
 3. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、新株予約権の残高がありますが、当社株式は2020年12月期第2四半期連結累計期間末において非上場であるため、期中平均株価が把握できませんので記載していません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	4,197	3,012	71.8
2019年12月期	3,355	2,028	60.5

（参考）自己資本 2020年12月期第2四半期 3,012百万円 2019年12月期 2,028百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,120	13.0	710	49.8	726	49.4	640	56.1	18.38

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2020年3月31日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しています。
3. 2020年12月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益は、公募株式数(2,050,000株)を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しており、オーバーアロットメントによる売出しに関連する第三者割当増資分(最大630,000株)は考慮していません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
 (注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 - ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期2Q	34,160,000株	2019年12月期	33,104,000株
② 期末自己株式数	2020年12月期2Q	－株	2019年12月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期2Q	33,855,780株	2019年12月期2Q	－株

- (注) 1. 当社は2020年3月31日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しています。
2. 当社は2019年12月期第2四半期については連結財務諸表を作成していないため、2019年12月期第2四半期の期中平均株式数（四半期累計）については記載していません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況	2
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により経済・消費活動が停滞し、依然として不透明な状況が継続しています。

当社グループがサービスを提供するデジタル・クリエイティブスタジオ関連市場においては、ビッグデータ、IoT、人工知能(AI)等の市場の拡大が引き続き見込まれる一方で、国内でこれらの開発を担う人材の不足が懸念されています。また、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、リモートワークの浸透や各種サービスのオンライン化など、生活における様々な場面においてデジタルトランスフォーメーションが進んでいます。

こうした経営環境の中、当社グループは、顧客の課題に応じて必要なサービスを提供すべく、「デジタル・クリエイティブスタジオ事業」という単一セグメントの中で、顧客と一緒にデジタルプロダクトを創造していく「クリエイティブ&エンジニアリング」と、デジタルプロダクトの創造に必要な人材を発掘・育成し、顧客に輩出していく「タレントプラットフォーム」という2つのサービスラインを展開し、中期経営計画に基づき、顧客数及び顧客単価の拡大を重点課題として取り組んでいます。

「クリエイティブ&エンジニアリング」においては、既存顧客からの継続・安定した堅調な受注と、新規顧客の増加が継続していることにより、当第2四半期連結累計期間末におけるストック型顧客数は77社、顧客単価は3,737千円、売上高は2,147,062千円となりました。「タレントプラットフォーム」においては、企業の採用意欲が軟調に推移したことにより、売上高は550,349千円となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間においては、売上高2,697,411千円、売上総利益は1,445,982千円、売上総利益率は53.61%となりました。また、営業損益以下の段階損益においては、売上高の継続成長に伴い、営業利益548,598千円、経常利益564,387千円、親会社株主に帰属する四半期純利益500,916千円となりました。

なお、当社グループは、デジタル・クリエイティブスタジオ事業の単一セグメントであるため、セグメント情報は記載していません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は4,197,142千円となり、前連結会計年度末に比べ841,634千円増加しました。これは主に、2020年1月及び2月に実施した資金調達(第三者割当増資)等による現金及び預金の増加727,756千円によるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は1,184,224千円となり、前連結会計年度末に比べ142,630千円減少しました。これは主に、短期借入金100,000千円の返済による減少、未払費用54,489千円の減少によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は3,012,918千円となり、前連結会計年度末に比べ984,265千円増加しました。これは主に、2020年1月及び2月に実施した資金調達(第三者割当増資)等による資本金の増加250,800千円、資本剰余金の増加250,800千円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加500,916千円によるものです。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、2,762,646千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は472,867千円となりました。これは、税金等調整前四半期純利益564,387千円の計上、賞与引当金の増加額72,729千円の計上、たな卸資産の減少額92,321千円の計上等があったものの、売上債権の増加額154,854千円、未払費用の減少額53,748千円があったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は277,872千円となりました。これは、定期預金の預入による支出215,274千円及び投資有価証券の取得による支出55,751千円があったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果獲得した資金は358,347千円となりました。これは、株式の発行による収入501,600千円、長期借入金の返済による支出143,253千円があったこと等によるものです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の業績予想につきましては、2020年7月31日公表の「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」から変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に対しては、リモートワークやオンライン会議システムの利用により業務を運営しているため、業績への影響は現時点では限定的であると考えています。今後、新型コロナウイルス感染症が深刻化、長期化する等により状況の変化や新たなリスクが発生する場合には、改めてお知らせします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,383,318	3,111,075
受取手形及び売掛金	398,923	550,624
仕掛品	103,341	10,320
その他	69,779	79,861
貸倒引当金	△5,700	△8,993
流動資産合計	2,949,661	3,742,889
固定資産		
有形固定資産	105,979	99,036
無形固定資産		
のれん	90,855	85,807
その他	430	153
無形固定資産合計	91,285	85,961
投資その他の資産		
その他	224,640	288,579
貸倒引当金	△16,058	△19,324
投資その他の資産合計	208,582	269,254
固定資産合計	405,846	454,253
資産合計	3,355,508	4,197,142
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	136,536	115,210
短期借入金	100,000	—
1年内返済予定の長期借入金	197,947	210,512
未払法人税等	62,526	53,179
賞与引当金	16,154	88,420
その他	456,379	415,811
流動負債合計	969,544	883,133
固定負債		
長期借入金	310,189	254,371
資産除去債務	36,220	36,050
その他	10,901	10,669
固定負債合計	357,311	301,090
負債合計	1,326,855	1,184,224

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	554,700	805,500
資本剰余金	539,700	790,500
利益剰余金	946,250	1,447,166
株主資本合計	2,040,650	3,043,166
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△982
為替換算調整勘定	△12,371	△29,640
その他の包括利益累計額合計	△12,371	△30,622
新株予約権	374	374
純資産合計	2,028,653	3,012,918
負債純資産合計	3,355,508	4,197,142

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	2,697,411
売上原価	1,251,429
売上総利益	1,445,982
販売費及び一般管理費	897,384
営業利益	548,598
営業外収益	
受取利息	4,408
為替差益	12,296
助成金収入	6,534
その他	151
営業外収益合計	23,391
営業外費用	
支払利息	1,679
上場関連費用	5,005
その他	917
営業外費用合計	7,602
経常利益	564,387
税金等調整前四半期純利益	564,387
法人税、住民税及び事業税	63,470
法人税等合計	63,470
四半期純利益	500,916
親会社株主に帰属する四半期純利益	500,916

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	500,916
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△982
為替換算調整勘定	△17,268
その他の包括利益合計	△18,251
四半期包括利益	482,665
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	482,665
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

当第2四半期連結累計期間
(自 2020年1月1日
至 2020年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	564,387
減価償却費	27,705
のれん償却額	5,047
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	6,557
賞与引当金の増減額 (△は減少)	72,729
受取利息	△4,408
支払利息	1,679
売上債権の増減額 (△は増加)	△154,854
たな卸資産の増減額 (△は増加)	92,321
仕入債務の増減額 (△は減少)	△21,270
その他の資産の増減額 (△は増加)	△128
未払消費税等の増減額 (△は減少)	10,199
前受金の増減額 (△は減少)	△2,212
未払金の増減額 (△は減少)	△388
未払費用の増減額 (△は減少)	△53,748
その他の負債の増減額 (△は減少)	△782
小計	542,834
利息の受取額	4,408
利息の支払額	△1,679
法人税等の支払額	△72,695
営業活動によるキャッシュ・フロー	472,867
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△215,274
定期預金の払戻による収入	26,216
有形固定資産の取得による支出	△21,564
投資有価証券の取得による支出	△55,751
その他	△11,498
投資活動によるキャッシュ・フロー	△277,872
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100,000
長期借入れによる収入	100,000
長期借入金の返済による支出	△143,253
株式の発行による収入	501,600
財務活動によるキャッシュ・フロー	358,347
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,514
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	543,828
現金及び現金同等物の期首残高	2,218,818
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,762,646

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年1月31日付で、加賀電子株式会社から、2020年2月28日付で、Innovation Growth Fund I L.P.、Sun*グループ従業員持株会、株式会社リバネスキャピタル、15th Rock Ventures Fund 1 L.P.、梅田琢也から第三者割当増資の払込を受けました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、資本金が250,800千円、資本準備金が250,800千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が805,500千円、資本剰余金が790,500千円となっています。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症拡大による影響は不透明であり、翌四半期以降の当社グループの連結財務諸表に重要な影響を及ぼす可能性があります。当社グループは、新型コロナウイルス感染症拡大は会計上の見積りに重要な影響はないものとして会計処理しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

当社グループは、デジタル・クリエイティブスタジオ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

(重要な後発事象)

1. 公募による新株式の発行

当社は、2020年7月31日付で東京証券取引所マザーズ市場へ上場しました。当社は上場にあたり、2020年6月26日及び7月13日開催の取締役会において、次のとおり新株式の発行を決議し、2020年7月30日に払込が完了しました。

この結果、7月30日時点の資本金は1,465,600千円、発行済株式総数は36,210,000株となっています。

(1) 募集方法	一般募集（ブックビルディング方式による募集）
(2) 募集株式の種類及び数	当社普通株式 2,050,000株
(3) 発行価格	1株につき700円
(4) 引受価額	1株につき644円
(5) 払込期日	2020年7月30日
(6) 資本組入額	1株につき322円
(7) 発行価格の総額	1,435,000千円
(8) 引受価額の総額	1,320,200千円
(9) 増加した資本金の額	660,100千円
(10) 増加した資本準備金の額	660,100千円
(11) 資金の使途	事業拡大のための人材確保に係る採用費及び人件費、求職者獲得のための広告宣伝費、借入金の返済に充当する予定です。

2. 第三者割当による新株式の発行

当社は、2020年7月31日付で東京証券取引所マザーズ市場へ上場しました。当社は上場にあたり、2020年6月26日及び7月13日開催の取締役会において、大和証券株式会社が行うオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連して、同社を割当先とする第三者割当による新株式の発行を決議しました。

(1) 募集方法	第三者割当（オーバーアロットメントによる売出し）
(2) 募集株式の種類及び数	当社普通株式 630,000株
(3) 割当価格	1株につき644円
(4) 払込期日	2020年9月2日
(5) 資本組入額	1株につき322円
(6) 割当価格の総額	405,720千円
(7) 増加した資本金の額	202,860千円
(8) 増加した資本準備金の額	202,860千円
(9) 割当先	大和証券株式会社
(10) 資金の使途	事業拡大のための人材確保に係る採用費及び人件費、求職者獲得のための広告宣伝費、借入金の返済に充当する予定です。